

# 令和6年産 美里地区の稲作情報

宮城県美里農業改良普及センター 第8号 令和6年9月9日発行

TEL:0229-32-3115

<https://www.pref.miyagi.jp/site/misato-index/>



## 1. 気象経過

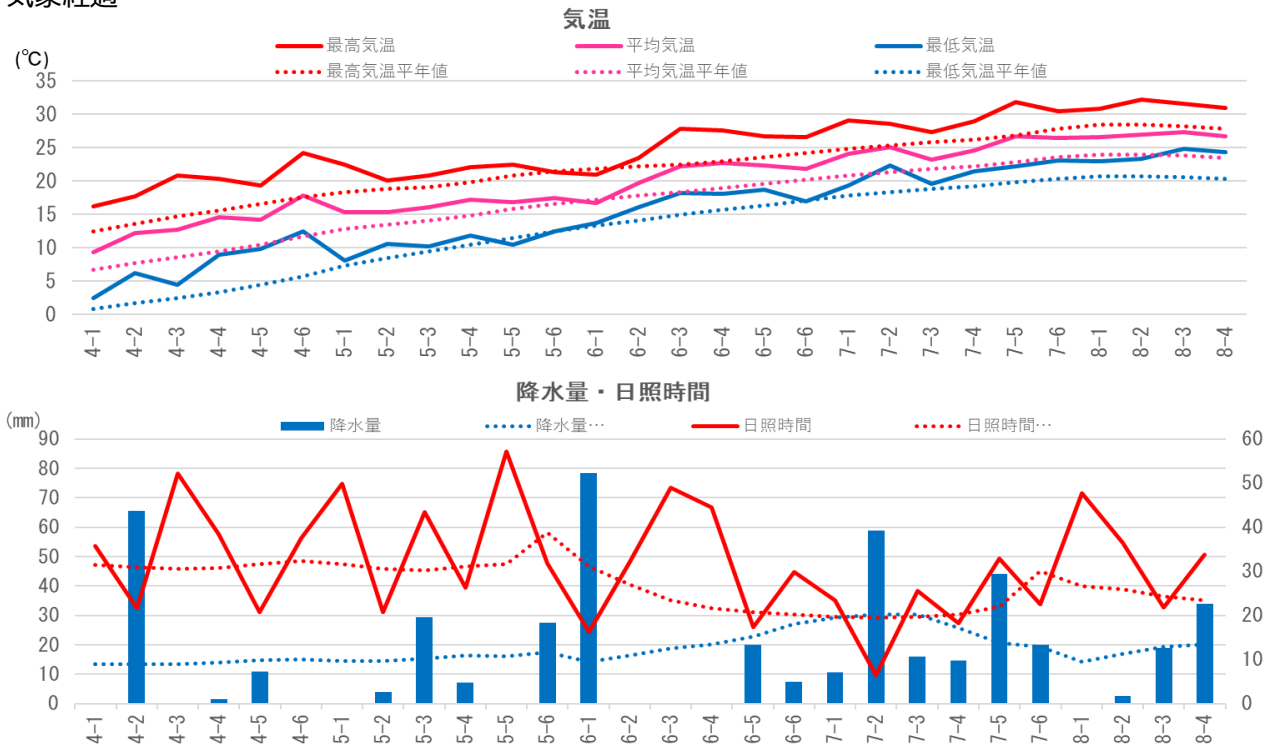


図1:管内の気象経過(鹿島台アメダス)

- ・平均気温は、6月上旬に平年をやや下回りましたが、作付け期間中高温で推移しています。月平均気温が4月、6月は観測史上最高、5月、7月、8月は観測史上第2位と記録的高温が続いています。
- ・4～6月は日照時間がやや多く、降水量はやや少なくなりました。7月は日照時間・降水量とも平年並みでした。6月までは降雨日数が少なく、降雨日1日当たりの降雨量が多い傾向がありました。

## 2. 管内水稻の概況

表1 管内の出穂状況

		始期 (5%出穂)	出穂期 (50%出穂)	穂揃期 (95%出穂)
管内	本年	7/24	7/28	8/5
	前年	7/25	7/28	8/3
	平年	7/28	8/1	8/9
県全体	本年	7/24	7/29	8/5
	前年	7/26	7/30	8/5
	平年	7/28	8/1	8/8

・高温で生育が早まり、出穂期は平年より4日早く、昨年同日の7月28日となりました。

・県全体の出穂期は昨年より1日早まり、7月29日でした。

※管内および県全体の平年値は過去5か年の平均値。

### 3. 生育経過

表2 出穂後25日調査結果

調査地点	品種	区分	田植 (播種)日	出穂日	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本/m <sup>2</sup> )	一穂粒数 (粒)	粒数 (百粒/m <sup>2</sup> )	葉色 (SPAD値)		
移植	田尻 (桜田高野)	ひとめぼれ	本年値	5月4日	7月27日	93.1	18.4	491.4	73.8	362.5	25.3	
			前年値	5月4日	7月27日	90.8	18.6	394.5	70.3	277.3	24.2	
			平年値	5月7日	7月31日	87.2	18.7	433.8	75.0	326.1	29.7	
			前年比・差			±0	±0	103%	99%	125%	105%	105%
			平年比・差			-3	+4	107%	99%	113%	98%	111%
	鹿島台 (広長)	つや姫	本年値	5月3日	8月5日	90.8	18.0	433.6	83.9	363.8	32.5	
			前年値	5月18日	8月6日	91.8	21.0	434.2	79.0	343.0	29.3	
			平年値	5月6日	8月4日	87.5	21.5	385.3	77.4	298.2	28.8	
	南郷 (和多田沼)	金のいぶき	本年値	5月4日	8月6日	88.5	20.9	431.4	79.5	341.7	31.7	
			前年値	+12	+2	105%	98%	113%	102%	115%	102%	
			平年値	+14	±0	104%	101%	101%	99%	100%	92%	
			前年比・差									
乾田 直播	小牛田 (北浦)	萌え みのり	本年値	4月28日	8月6日	73.9	21.6	448.6	74.0	332.0	39.8	

※平年値は過去5年間の平均値。つや姫、萌えみのりはR6年からの調査。

・稈長はどの品種も長めの傾向です。

・「ひとめぼれ」は穂数がかかなり多いため、平年より粒数がかかなり多くなっています。「つや姫」など平年値のない品種も、穂数、粒数が多い傾向があります。

### 4. 刈り取り適期について

・積算平均気温から算出した刈り取り適期予測では、平年より適期が早まり、また特に出穂が早いほ場では、適期が短くなっています(表3)。

・刈り取り時期が遅くなると白未熟粒、ついで胴割粒や茶米が増加し、品質が低下します。

・成熟期後も刈り取りまで稲体は生きています。高温時の早期落水は品質低下を助長しますので、出穂後30日～刈り取り10日前を目安に落水しましょう(図2)。

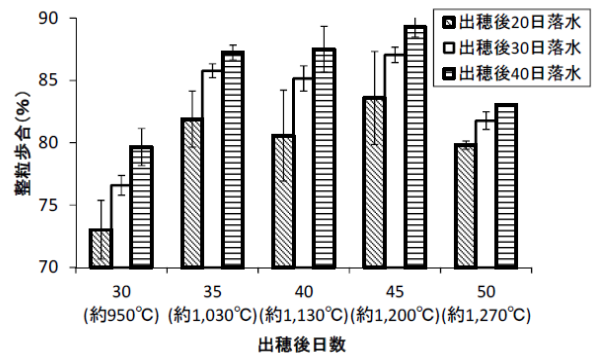


図2 落水時期別の整粒歩合 (出典:普及に移す技術第91号)

表3 品種別刈り取り適期の予測

品 種	目安となる 積算気温	出穂期				
		7/24	7/28	8/1	8/5	8/9
ひとめぼれ まなむすめ	940°C(早限)	8/29	9/2	9/6	9/11	9/15
	1,000°C	8/31	9/4	9/9	9/13	9/18
	1,100°C(晩限)	9/3	9/7	9/12	9/17	9/22
ササニシキ	930°C(早限)	8/28	9/1	9/6	9/10	9/15
	1,000°C	8/31	9/4	9/9	9/13	9/18
	1,150°C(晩限)	9/5	9/9	9/14	9/19	9/25
つや姫	1,000°C(早限)	8/31	9/4	9/9	9/13	9/18
	1,100°C	9/4	9/8	9/13	9/18	9/23
	1,200°C(晩限)	9/7	9/12	9/16	9/22	9/27

※鹿島台アメダスの平均気温(9月7日までは実測値、9月8日～10月4日までは気象庁の1か月予報による予測値、10月5日以降は準平年値)から予測。

～収穫適期について～

・籾の90%程度が完全に成熟して黄色になり、穂軸が先端から1/3程度黄変したときが刈取適期です(図3)。

・コンバイン収穫作業では、収穫時の籾水分が高すぎると、籾や玄米に損傷を与え、胴割粒が増加し、品質低下の原因となります。  
籾水分25%以下を目安に収穫しましょう。

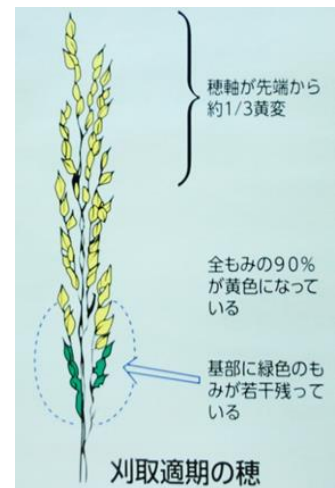


図3 刈り取り適期の穂のイメージ図

～刈り取りの注意点～

- ・倒伏した稲や水口など成熟期の遅れた稲は、収穫時期や籾袋を別にして乾燥しましょう。
- ・クサネムやツユクサは、脱穀時に種子が混入すると、揺動式比重選や粒径選でも取り除きにくいので、収穫作業前に必ず抜き取りましょう。
- ・鉄コーティング直播、紋枯病が発生しているほ場は倒伏しやすいので適期に達したら早めに刈り取りましょう。特に今年は、出穂前の高温により稈長が伸びており、倒伏しやすい状態です。

～乾燥・調製の注意点～

- ・倒伏した稲や未熟粒の多い稲は高水分籾の混入により過乾燥となりやすく、胴割米の発生・碎粒の増加など品質低下を招きます。
- ・高水分籾を機械乾燥する場合は、二段乾燥を行い、水分むらや胴割米の発生などを抑えましょう(図4)。
- ・仕上がりの玄米水分測定はこまめに行い、また玄米の測定サンプルから未熟粒を取り除いて正確に測定しましょう。  
仕上がり水分は14.5%～15.0%が目標です。
- ・籾摺は肌ずれ防止のため、籾の温度を室温まで下げてから行いましょう。また、ロール式籾摺機の場合は、籾(品種)に見合った適正なロール間隔に調整しましょう。
- ・異品種の混入を未然に防ぐため、品種が替わる毎に機械類の清掃を徹底してください。

◎収穫時の籾水分(平均23%)

乾燥開始	17:00
乾燥機一時休止	22:00
籾水分	約19%
乾減率	0.8%/h
乾燥機一時休止 22:00～翌朝 7:00	
乾燥再開	7:00
乾燥終了	11:00
玄米水分	15.5%
一時貯留槽に排出 11:00～	

図4 二段乾燥の一例(山形農試)

～9月1日から11月30日は秋の農作業安全確認運動期間です～  
忙しくても安全を一番に!

